

日本医師会生涯教育講座 (2単位 cc:0, 4. 10. 15 )  
(公財) 日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度認定  
(一社) 日本緩和医療薬学会緩和薬物療法認定薬剤師制度認定

## 疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会 ～症例から適正使用を学ぶ～

開催のご案内  
厚生労働省  
福岡県  
(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

厚生労働省、福岡県及び公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターは、医療用麻薬の適正使用によるWHO方式がん疼痛治療法の全国への均てん化とがん疼痛治療の更なる向上を目指して、医療関係者にWHO方式がん疼痛治療法に関する実践的な知識を習得していただくための講習会を下記により開催いたします。

多数の皆様のご参加をいただきますよう、ご案内申し上げます。

### 記

- 1 日時 平成31年2月9日(土) 午後3時～午後6時15分
- 2 場所 エルガーラ大ホール  
福岡市中央区天神1丁目4番地2号
- 3 内容  
コーディネーター  
独立行政法人国立病院機構九州がんセンター  
臨床研究センター長・緩和ケアセンター部長 江崎 泰斗 先生  
講演 「患者さんにとっての医療用麻薬適正使用を考える」  
佐世保市総合医療センター緩和ケア科 部長 富安 志郎 先生  
講演 「疼痛緩和のための服薬指導」  
九州大学病院 薬剤部 池田 宗彦 先生  
講演 「自宅や介護施設での麻薬管理と事故防止について」  
矢津内科消化器科クリニック院長 矢津 剛 先生  
講演 「医療用麻薬の適正管理について」  
福岡県保健医療介護部薬務課麻薬係長 藤田 敏明 先生  
質疑応答 パネルディスカッション  
まとめ 「福岡県における医療用麻薬使用の現状とその適正使用について」  
独立行政法人国立病院機構九州がんセンター  
臨床研究センター長・緩和ケアセンター部長 江崎 泰斗 先生
- 4 対象者 医療関係者(350人)
- 5 参加費 無料
- 6 主催 厚生労働省 福岡県  
(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター
- 7 後援 (公社) 福岡県医師会 (公社) 福岡県薬剤師会
- 8 協賛 麻薬生産者協会  
(救急薬品工業、協和発酵キリン、塩野義製薬、第一三共、大日本住友製薬、武田薬品工業、田辺三菱製薬、帝國製薬、テルモ、東和薬品、日本臓器製薬、久光製薬、藤本製薬、丸石製薬、ヤンセンファーマ、祐徳薬品工業)
- 9 事務局 (公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター (富澤・白井)  
電話 03-5544-8436
- 10 参加申し込み

**麻薬・覚せい剤乱用防止センターホームページ(<http://www.dapc.or.jp>)よりお申し込みください。**

FAXによるお申し込みも受け付けております。(03-5544-8473)  
2月7日(木)まで受け付けますが、定員に達し次第締め切ります。

【医療関係者対象の講習会】

「疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会」  
参加申込書（FAX）

申込先FAX番号：03-5544-8473

平成 年 月 日

|   |   |  |          |
|---|---|--|----------|
| 会場  | エルガーラ大ホール   |  |          |
| 日時  | 平成31年2月9日（土） 午後3時～午後6時15分   |  |          |
| ふりがな  |   |  |          |
| 氏名  |   |  |          |
| 職種  | 医師 歯科医師 薬剤師 看護師<br>その他の医療関係職種（ ）  |  |          |
| 所属  | 病院 診療所 保険薬局<br>その他（ ）   |  |          |
| 住所  | 都道<br>府県  |  | 市区<br>町村 |
| 連絡先   | FAX：（ ）   |  | —        |
|   | Eメール：   |  | @        |
| 受講証明  | <input type="checkbox"/> 医師生涯教育講座<br><input type="checkbox"/> 薬剤師研修センターシール<br><input type="checkbox"/> 緩和医療薬学会シール |  |          |
| 質問<br><br>(講習会の最後に<br>パネル形式で質疑<br>応答を行いま<br>す。) |   |  |          |

- (注) 1 この申込書の個人情報、本講習会関係事務以外には使用いたしません。また、お送りいただいた申込書は講習会終了後速やかに破棄いたします。
- 2 ご希望の方には、財団発行の受講証明書をお渡しいたします。
- 3 お申し込みが多い場合は、臨床の医療従事者の方の受講を優先いたします。このため、製薬会社にご所属の方については、受講をご遠慮いただくことがありますのでご承知おきください。その場合は、2月4日までにFAXでご連絡します。
- 4 受付票は発行しません。定員超過の場合はご連絡します。